

最終2カ年行革プランの策定

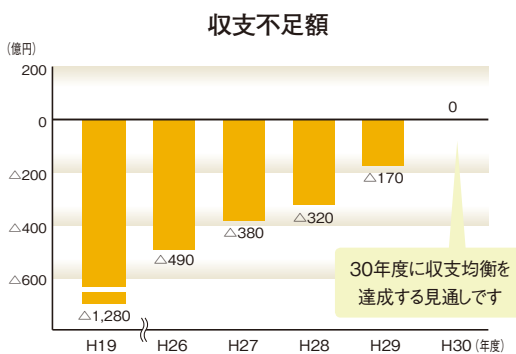
県は、阪神・淡路大震災からの創造的復興を成し遂げるため、約1兆3千億円に上る震災関連県債を発行しました。この悪化した財政を立て直すため、平成30年度を目標年度として、行財政全般にわたる改革に全力で取り組んでいます。

このたび策定した最終2カ年行革プラン（29年度～30年度）では、目標とする構造改革を確かなものとするための取り組みに加え、行財政構造改革を成し遂げた後の県の目指すべき施策の方向性、そして31年度以降の行財政改革の在り方について取りまとめました。

改革の成果である確固たる行財政基盤の下で、人口が減少する中であっても、兵庫の強みである「多様性と連携」を基本に、県民が豊かさを実感し、将来への夢を描ける兵庫を創っていきます。

財政収支の見通し

30年度において、収支均衡を達成する見通しです。



主な改革内容

◎組織

本庁組織について、総合的かつ機動的に施策を展開する

ため、5部体制を維持した上で、健康福祉部内に福祉部長を置きます。

県民局・県民センターについては、地域の政策課題に対し総合的機能を発揮するため、7県民局3県民センター体制を維持します。

◎定員

一般行政部門などにおいて、引き続き、おおむね3割の定員削減（20年度～30年度）を進めます。

また、適正な定員管理を行う中で、年齢構成の平準化に向けた計画的な職員採用を行います。

◎給与

27年度から段階的に縮小を開始した給与抑制措置について、行財政構造改革期間中における県の財政状況などを踏まえ、30年度末までの解消に向けて取り組みます。

【主な見直し事業】

■老人医療費助成事業の廃止と高齢期移行助成事業の創設

平均寿命の伸びなどを踏まえ、現行の老人医療費助成事業は6月末で廃止（経過措置あり）。所得あるいは身体的理由等で自立できない特別な配慮が必要な65歳～69歳の人を対象とした医療費助成事業を7月に創設。

■民間社会福祉施設運営支援事業の見直し

国が職員給与のさらなる改善を行う中、公定価格などの算定外となっている加配人員に対し、国と同等の支援とすることで、施設全職員の確実な処遇改善を促進。

■旅券事務所の土日開庁

各事務所において土日開庁（平日2日閉庁）し、旅券の申請受け付けと交付ができる体制に拡充（30年度予定）。

◎事務事業

「選択と集中」を基本として、時代の変化や県と市町の役割分担などを踏まえた見直しを行うとともに、仕事の進め方の見直しなどにより業務執行の一層の簡素化・効率化を図ります。

◎投資事業

29年度以降については、地

◎公的施設

方財政計画の水準を基本に、県の喫緊の課題である第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画の推進や、地震・津波対策等耐震改修事業および公共施設等の長寿命化・環境整備対策などの事業費を、地方交付税措置のある有利な県債を活用し、別枠で確保します。

「兵庫県公共施設等総合管

理計画」に基づき、施設総量の適正化や財政負担の軽減・平準化を図る老朽化への対応を推進します。

◎公社等

社会経済情勢の変化や公社等経営評価委員会からの提言などを踏まえ、引き続き公社等の必要性を検証するとともに、個別の機能を生かした行政サービスや新たな事業展開などさらなる改革を進めます。

新たな施策展開

収支均衡など行財政構造改革を成し遂げた基盤の上に、県民ニーズや時代潮流を的確に捉え、人口減少の中でも活力と魅力あふれる兵庫を築くため①兵庫の未来を拓く地域創生を進める②地域創生を支える社会基盤をつくる③健康で安心できる兵庫をつくる④だれもが活躍できる社会をつ

くる⑤県政150周年を機に新たな県政を展開するための施策を推進します。

31年度以降の 行財政改革

現行の行革推進条例に基づく構造改革は、条例の規定どおり30年度をもって終了します。

一方で、実質公債費比率等は依然として高い水準にあることに加え、世界経済や日本経済の見通し、これに関係する県税収入の動向、地方財政計画の見直しなどを十分に見極める必要があります。

31年度以降においても、健全な行財政運営を維持できるように、不断の改革は不可欠であり、30年度に行う行革の検証と併せて、31年度以降の行財政規律の確保に関する基本的な枠組みについて検討します。

◎新行政課

☎078(362)3045 ☎078(362)9478

詳細は県ホームページに掲載しています [兵庫県 行革](#) 検索

地域創生の取り組み

県では、平成27年度に策定した兵庫県地域創生戦略に基づき、人口減少社会が抱える構造的な課題に中長期的な視点で挑む「地域創生」に取り組んでいます。

人口の「自然増対策」、「社会増対策」と「地域の元気づくり」の3本柱の施策を展開し、兵庫らしい地域創生の実現を目指します。

☎地域創生課 ☎078(362)4221 ☎078(362)3950

[兵庫県 地域創生](#) 検索

ひょうご出会いサポートセンター

県内10カ所および東京都に出会いサポートセンターを設置し、個別お見合い事業など出会い支援事業を実施しています。

☎☎078(891)7415 ☎078(381)6829

[ひょうご 出会い](#) 検索

カムバックひょうごセンター(神戸) カムバックひょうご東京センター

UJターンを促進するため、移住相談や地域の各種支援策などの情報提供を行う総合窓口を神戸市と東京都に設置しています。

☎(神戸) ☎078(360)9971 ☎078(360)0071
(東京) ☎03(6262)5995 ☎03(6262)2730

[カムバックひょうご](#) 検索

地域創生関連情報サイト「ひょうごBENTO」

仕事、移住、観光、出会いなどの情報を発信しています。

[ひょうごBENTO](#) 検索

兵庫県公式地域創生Instagram

一般の方がハッシュタグ「#lovehyogo」を付けて投稿した兵庫県に関する写真を、写真共有型SNSのInstagramで紹介しています。

[Instagram 兵庫](#) 検索